

PCAPS研究会, QMS-H研究会, 一般社団法人 日本品質管理学会(JSQC) 医療の質・安全部会
一般社団法人 医療社会システム研究開発普及センター Q-Lab.(仮名) 共催
東京大学大学院工学系研究科「医療社会システム工学寄付講座」シンポジウム
H25年度 PCAPS研究会・QMS-H研究会 成果報告シンポジウム

医療への質マネジメントアプローチ

2014年3月1日(土), 2日(日)於:東京大学農学部弥生講堂一条ホール

PCAPS研究会代表:水流聡子(東京大学), 顧問:飯塚悦功(東京大学), アドバイザー:棟近雅彦(早稲田大学)
QMS-H研究会代表:飯塚悦功(東京大学), 副代表:棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療の質・安全への関心の高まりのなかで, 有力な方法の一つと期待されているのが, 「質マネジメントアプローチ」です。いかなる分野でも, 良質の製品・サービスの提供のためには, 当該分野に固有の技術・知識(固有技術)と, それらの技術・知識を組織的に活用するための方法論(マネジメント技術)が必要です。「医療への質マネジメントアプローチ」とは, この考え方に基づき, 医療の質・安全に必要な知識・技術・技能の開発・可視化・構造化・標準化とともに, これらの技術を組織的に活用していくための基礎となる, マネジメントの基本概念的な理解, マネジメントシステムの確立・改善, 人材育成, 組織文化・価値観の確立などに焦点を当てる, 組織的な改善・改革の方法論です。

PCAPS研究会・QMS-H研究会の両研究会は, 大学の工学系研究者と病院及び個々のエキスパート臨床家との共同研究により, 「質マネジメントアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。PCAPS研究会は, 治療方法などの臨床知識・技術の構造的な可視化とその応用に焦点を当て, またQMS-H研究会は, それらの臨床知識・技術を組織的に有効活用するためのマネジメントの方法論の開発と医療機関への導入・推進方法の確立に取り組んでいます。

本年度, PCAPS研究会は, 病院日常臨床への実装, 診療ガイドラインの活用と改善, 地域医療システムへの展開, がん拠点病院群の質評価など, 構造化臨床知識の現実世界への多様な実装を紹介し, PCAPSによって収集される臨床データを用いた臨床と医療経営に関する分析の可能性・有用性を提示します。QMS-H研究会に関しては, 医療質マネジメントシステムの全体モデルと, その重要な構成要素である業務標準, 質・安全教育, 文書管理, 業務システムの見直し等について, 実践的研究成果を紹介し, 医療の質・安全の向上に取り組んでいらっしゃる多くの方々への参加を歓迎いたします。

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

■ 1日目:2014年3月1日(土)10:00-17:30 「PCAPSの実装・臨床分析・社会システム構築への貢献」

I. 統括報告

II. PCAPS実装研究

- ・飯塚病院(局所麻酔手術, 日帰り手術) ・在宅看護 ・回復期リハビリ/療養型サービス提供病院
- ・聖マリア病院(心血管系動脈硬化症疾病管理, リハビリ) ・久留米大学附属病院(乳がん)
- ・禎心会病院(全入院患者への適用, PCAPSによる計画立案・オーダー発行・HIS連携・構造化サマリー生成)

III. PCAPSを用いた目的別臨床分析手法研究

- ・脳外科&リハビリ(構造的な可視化による標準探索) ・乳がん(標準治療への院内合意形成)
- ・小児科(社会システム化要素の特定) ・呼吸器COPD(多職種/多組織連携知識の可視化・連携効果)

IV. 連携システム・地域保健医療介護システムの構築

- ・小児地域保健医療システムの構築 ・高齢者地域保健医療介護システムの構築
- ・疾病管理の院内連携/地域連携システムの構築(心血管疾患/COPD急性増悪・HOTなど)

V. パネルディスカッション:医療の質改善に向けたネットワーク展開

- ・患者組織 ・厚生労働科研:ガイドライン研究(中山班) ・厚生労働科研:がん研究(若尾班)
- ・厚生労働科研:がん診療ガイドライン構築研究(平田班) ・支援組織(PCAPSコンソーシアム・Q-Lab)

VI. パネルディスカッション:医療の質向上のためのPDCAサイクル構築 ―がん医療における組織的改善活動―

VII. 各病院・各領域の「臨床の質」改善に向けた臨床知識の構造化・臨床活用・臨床分析(ポスターセッション)

■ 2日目:2014年3月2日(日)9:30-17:00 「医療 QMSの基盤構築と実践」

I. 本研究会のねらい, 意義, 展望

II. 業務標準

- ・業務プロセス管理のフレームワーク
- ・技術仕様・プロセス管理標準・リソース管理標準

III. 医療の質・安全教育

- ・標準カリキュラム, テキストの提案
- ・標準カリキュラムの実践事例

IV. 文書管理

- ・標準文書体系の確立とその実践

V. 業務システムの見直し

- ・業務システムの不備を発見する観点の体系化
- ・内部監査による実践

VI. ポスターセッション

VII. 今年度のまとめと来年度以降の計画

(申込方法:裏面をご覧ください。)

キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩12分
 湯島駅, 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩15分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手
 操車所前行
 東大(赤門前, 正門前, 農学部前バス停)下車
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,
 構内バス停)下車

■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、必ず事前に参加申し込みをしてください。参加申し込みなく当日参加された場合、資料が準備できない場合がありますので、ご了承ください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 参加予定)をご記入の上, 下記 E-mailまたは FAXでお申し込みください。この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください)。

シンポジウム事務局 E-mail: pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp TEL:03-5841-7299 FAX: 03-5841-7276
 PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/> をご参照ください。
 QMS-H研究の詳細は, <http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。

【参加申込書】

※1 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください。
 参加予定日 [ア).3/1と3/2の2日間とも参加 イ).3/1のみ参加 ウ)3/2のみ参加]

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX	参加 予定※1